

プログラム

伝統を受け継ぐ

「安達ヶ原」 川北神楽団
深化する神楽

「大江山」 原田神楽団

新たな挑戦

創作神楽「厳島」 琴庄神楽団

企画・構成
脚本・脚本
演出

石井誠治
石丸賢太郎
崎内俊宏 琴庄神楽団

創作神楽

厳島

平成22年 9月5日(日) 開場 13:00 開演 14:00

ALSOホール (県立文化芸術ホール)

前売券発売開始!! 7月19日(月・祝) 前売券 S席 2,500円 A席 2,000円
(1階席) (2階席)

座席に余裕がある場合は、当日12時から会場当日券を販売いたします。

前売券発売所

- RCC文化センター(082-222-0044) ●デオデオ本店(082-247-5111) ●アルパーク天満屋(082-501-1745)
- チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:405-952) ●ひろしま夢ぶらざ(082-544-1122)
- 福屋広島駅前店チケットサロン(082-568-3942) ●千代田ショッピングセンターサックス(0826-72-3939)

主催 広島県、財団法人自治総合センター、ひろしま夏の芸術祭実行委員会(広島県、公益財団法人ひろしま文化振興財団、エリザベト音楽大学、広島県吹奏楽連盟、社団法人広島県観光連盟)、広島市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、江原市、天竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、財団法人広島文化振興財団、三三寺博物館、財団法人しよや美術館、中国新聞社

後援 朝日新聞広島総局、産経新聞中・四国総局、山陽新聞社、日本経済新聞社広島支局、毎日新聞広島支局、読売新聞大阪本社、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、FMちゅービー76.6MHz、FMはつかいち76.1MHz、エフエムふくやま、広島エフエム放送、広島リビング新聞社、東広島リビング新聞社、福山リビング新聞社、尾道ケーブルテレビ、KAMONケーブルテレビ、ふれあいチャンネル、三原テレビ放送、三次ケーブルビジョン

協賛 イズミ、ウッドワン、オタフクソース、賀茂鶴酒造、ココ・コアラウエスト、瀬戸内海汽船、そごう、天満屋、電通西日本、にしき堂、広島ガス、広島銀行、広島県医師会、広島県歯科医師会、広島県信用組合、広島県薬剤師会、広島市信用組合、広島信用金庫、広島総合警備保障、広島電鉄、福屋、マツダ、もみじ銀行、ヤマハミュージック中四国(50音版)

チケットに関するお問い合わせ RCC文化センター TEL082-222-0044

問合せ先 ひろしま夏の芸術祭実行委員会事務局
〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局文化芸術課内
TEL082-513-2722 FAX082-222-7133
ホームページ <http://www.hiroshima-artfest.jp/>

ひろしま夏の芸術祭

検索
クリック



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に還元されています。



新たなる挑戦 創作神楽「巖島」

神楽は故郷の大切な伝統芸能として育てられ、今や広島県の舞台芸術になりました。今回の公演では伝統を受け継ぐ神楽として、ユーモラスな演技や観客とのかけあいのある「安達ヶ原」、深化する神楽として、物語性の高い、競演大会などで人気の演目「大江山」、そして、広島が誇る世界遺産「宮島」を題材に、新たに創作した神楽「巖島」をご覧ください。

この新しい演目が、広く皆様に愛される作品の一つとして成長し、広島県の神楽として親しまれることを願っています。

伝統を受け継ぐ 「安達ヶ原」川北神楽団(山県郡安芸太田町)

あらすじと解説

平安時代の中頃、鳥羽上皇が玉藻前(たまものまえ)という美女を寵愛されるようになると、体調を崩され世が乱れ始めます。これを不審に思った陰陽師・安倍泰親(あべのやすちか)が玉藻前を占うと、玉藻前は唐の国で悪行を重ねた末、わが国へ逃亡した金毛九尾(きんもうきゅうび)の悪狐だったのです。この悪狐は、正体を見破られると京の都から安達ヶ原へ飛び去り、再び美女に化けて旅人を襲うようになります。

那智(なち)の大法師・東光坊阿闍梨祐慶(とうこうぼうあじりゆうけい)は剛力を従え修行の途中、陸奥国安達ヶ原(むつこのくにあだちがはら)にさしかかったところで日は暮れてしまい、出会った美女に一夜の宿を借りようと思いますが、美女は悪狐となり襲

いかかり、剛力は食い殺され、法師は辛うじて逃げ去ります。この後、勅命を受けた弓の名人三浦ノ介・上総ノ介(みうらのすけ・かずさのすけ)が悪狐退治に向かい退治する物語です。

神楽団プロフィール

川北神楽団は、明治26年に9名で矢上系石見神楽を受け継ぎ、昭和初期には浜田八調子の大江山などを取り入れ、当時としては画期的な神楽団だったようです。

平成5年に結成100周年を迎え、これを機に神祇舞に加え、10年1月には『四神』が無形民俗文化財の指定を受けました。今後、後継者の育成と共に川北の神楽の保存伝承に力を注ぎたいと思います。



安達ヶ原

深化する神楽 「大江山」原田神楽団(安芸高田市)

あらすじと解説

平安時代『都の果て 一条・戻り橋に鬼が出た』『朽ち果てた都の玄関・羅生門に鬼が棲む』と言われ、妖術を使う鬼たちは、京の都へ舞い降りて悪事を重ねていました。

そこで朝廷は、鬼の根城を陰陽師・安倍清明に占わせると、清明は「丹波国・大江山」と告げます。そして、都の守(まもり)・源頼光(みなもとのかげ)と四天王は、勅命を受け、大江山の鬼退治に向かいます。険しい山を登りはじめると、日頃信心する神様が現れ、人が飲むと力が湧き鬼が飲むと毒になる『神便鬼毒(じんべんきどく)』の酒を頂きます。更に登ると洗い物をする都から誘われた姫に出会います。

そして、この姫に鬼の岩屋へ案内させます。鬼の頭(かしら)

酒呑童子は、頼光の一行が山伏姿であることから山伏問答を仕掛けてきますが、その終わりにはお神酒を「都の酒」と喜び飲み、酔い伏してしまいます。

そこで、頼光主従は鬼たちに挑み、壮絶な戦いの末成敗します。

神楽団プロフィール

原田神楽団は、安芸高田市高宮町の原田八幡神社を守護神として祭礼にいそしんでおり、上演可能な演目は17以上を保持しております。「後継者育成」「地域文化の伝承」をテーマに活動しています。地域の方々の御協力により子ども神楽も発足し、次の時代を担ってくれる若い世代を育てながらさらなる発展を目的に団員一同頑張っています。今後とも温かいご支援ご指導をよろしくお願いいたします。



大江山

新たなる挑戦 創作神楽「巖島」琴庄神楽団(山県郡北広島町)

あらすじと解説

この創作神楽は、巖島縁起と巖島神社を建立した平清盛の物語です。今から千四百年の昔、須佐之命命を御親とする市村島姫(いちきしまひめ)を含む三女神は、国家鎮護を願ひ筑前宗像(ちくぜんむなかた)の地から国の中央をめざして瀬戸内海を東に向かいます。やがて、気高い山のある美しい島に辿りつき、この荘厳な地に鎮ります。その後、この島は巖島と言われるようになります。それから五百年の後、平安時代も終わり頃、安芸守(かみ)となった平清盛は巖島に参拝し、靈験の灼(あらかた)かな巖島を平家一門の守護神とします。このご神徳により清盛は、平家の棟梁から太政大臣という天下人へと大出世し、平家一門の全盛期を築きます。『清く盛(さか)えよ清盛』と育てられ、天運によって『この世の春』と謳歌する清盛は、平安建築の粋を

極め、瀬戸内海の風景も取り込んだ壮大な巖島神社を建立したのです。国家安泰・平家の繁栄を夢見て建立された巖島。清盛・時子は互いに慈しみながらめぐり来るわが国の時代と人を永遠に見守っているのです。

神楽団プロフィール

琴庄神楽団は、北広島町(旧豊平町)の中心に位置する庄原八幡神社と琴谷天日神社を守護神とし崇拝してきておりますが、昭和48年神楽同好会が発足し、町内の神楽団より、八調子、六調子の神楽を習い奉納してきました。その後、高宮町の神楽団から神楽を習い昭和60年に琴庄神楽団となりました。歴史の浅い神楽団ではありますが、おかげ様で、現在では各地からお声をかけていただき奉納をさせていただいております。今後とも、温かいご支援の程よろしくお申し上げます。



義経平氏追討より

企画・構成 石井誠治 台本・脚本 石丸賢太郎 演出 崎内俊宏(琴庄神楽団)



企画・構成
石井誠治

1971年広島経済大学経済学部卒業。千代田町(現北広島町)勤務・社会教育主事。1991年株式会社ゼロワン設立。1993年郷土芸能「神楽」を舞台芸術へ「スーパー神楽中川戸」広島市アステールプラザ公演の企画・演出を手がける。1999年RCC早春神楽共演大会 企画・演出。2003年ロシア・サンクトペテルブルク市建都300年祭 神楽公演演出。茨城県牛久市「広島神楽の公演」構成・演出。2004年NPO広島神楽芸術研究所設立発起人、設立当初より理事を務める。2006年マイクロソフトNPO支援プログラムにより広島・島根の神楽団体活動調査を実施。神楽ポータルサイト「神楽の杜(もり)」運用開始。広島・島根交流神楽「月一の舞い」を開催、企画・構成担当。



台本・脚本
石丸賢太郎

昭和55年11月11日 高田郡(現安芸高田市)吉田町生まれ。比治山大学現代文化学部言語文化学科日本語文化専攻 卒業。卒業論文「中国山地における神楽の諸形態について」現在、既存台本の編集・校訂を行い、創作神楽の台本も執筆している。提供台本
・大塚神楽団「頼政」 ・有田神楽団「有田・中井手の戦い」
・宮乃木神楽団「新羅三郎〜後三年の役」
・八千代神楽団「天慶の乱」・下五原神楽団「将門記 滝夜叉」など。

これは音声コードです

目の不自由な方の情報提供を目的に作られたものです。この音声コードを、活字読み上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。

